

「何ジロジロ見てんの？」

「オッサン私服警官？」

「PP活う…？」

「あゝ、そっちなね…」

「アタシ結構高いよ？」

「とりま前金で
3万で〜」

「んで本番なしの
ズリ抜きで7万
つてとこかな〜」

「でもオッサンみたいな
冴えないリーマンに
払えんの？笑」

お金大好きPP活黒ギャル

くろがね
「黒銀 レイラ」

『ooooo』

「あwごつめ〜ん
悪気があった訳じゃ
ないんだ〜w」

「そんな顔
しないでよw」

『ooooo』

「三倍出すから
ゴムあり本番でどうだ？」



「三倍出せんのか!？」

「オッサン富豪かよ!」

「シケたスーツ来てるから
貧乏サラリーマンかと思
ったわ!!」



「ほら早く行こっ!」

「途中でゴム買って〜♥」

「あ、ホテルは駅前の
グランドホテルね〜♥」



「あ、アタシさ〜♥
最近金欠で欲しいバッグ
買えてないんだよね〜♥」

「エ○メスのバッグ
なんだけどお〜♥」

「もし買ってくれたら
アタシいっっぱいサービス
しちゃうなあ〜♥」

「レイちゃん…
わかったから…」

「こっちがもう限界で…」

!

ミチ…

ミチ…

ミチ…



「おっけい♡じゃあ
ホテルいこっか♡」

「その様子じゃあお店の中に入れないからね♡」

ふっ…もう勃ってんのかよ…w

おち♡

おち♡

「現役○Kのムチムチボディで
気持ち良くしてあげるから
早々にヘタレないでよ??♡♡」

ついやゝおじさんってのは
相変わらずチョロいねw

ちよゝつと胸使って
アピればすぐにチンコ
おっ勃ててオチるんだからw

♪

お金もバッグもゲットで
人生イーजीモードだね♡
このままアタシのテクでチンコも財布も
骨抜きにしてやろゝつと♡

良いカモゲット♡



「ッおっさんマジ
やばいつてッ♥」「おッ♥飛ばし過ぎい♥」

「あたしもうイってる
ってばあああつつ♥♥」

「うるせえっ、金二つで簡単に
股開くバカマンコがっ」

「喋ってないでマンコ締めろっ
オラ射精すぞっ!」



「フー……ッ♥
何発射精しても一発目
くらいの量出るわ♥
マジで神マンコ♥♥♥」

「ん？金玉枕にして
寝てんのか？w」

「ちんぽ様をほったらかす
無礼な雌にはしっかり
ワカラせないと♥」

「なあレイラ♥♥」



「この金に目がない
メスガキいじめるのが
雄の特権だよなあ」

「うっちにー♡
うっちにー♡」

「オラ止まん♡
そのデブケツ尻動かして
気持ち良くさせろ♡」



「21♡」

「22♡」



「あーオチやがったw
27回かい♡あと少し
だったのになあレイラ♡」



「んっ♡マシで…っ♡いつかい♡
休ませてえ♡あッ♡」

「頑張れよレイラ♡
30回いかなーと
バック買つてやらねえぞ
欲しいんだろ？w」

「ッほしいっ♡けどお…おっ♡
もっ…ッ限界なのっ♡」

「金搾り取る気満々だったろw
ほら頑張れ頑張れ♡」

「それはっ…謝るからっ♡
謝るからああああ♡」

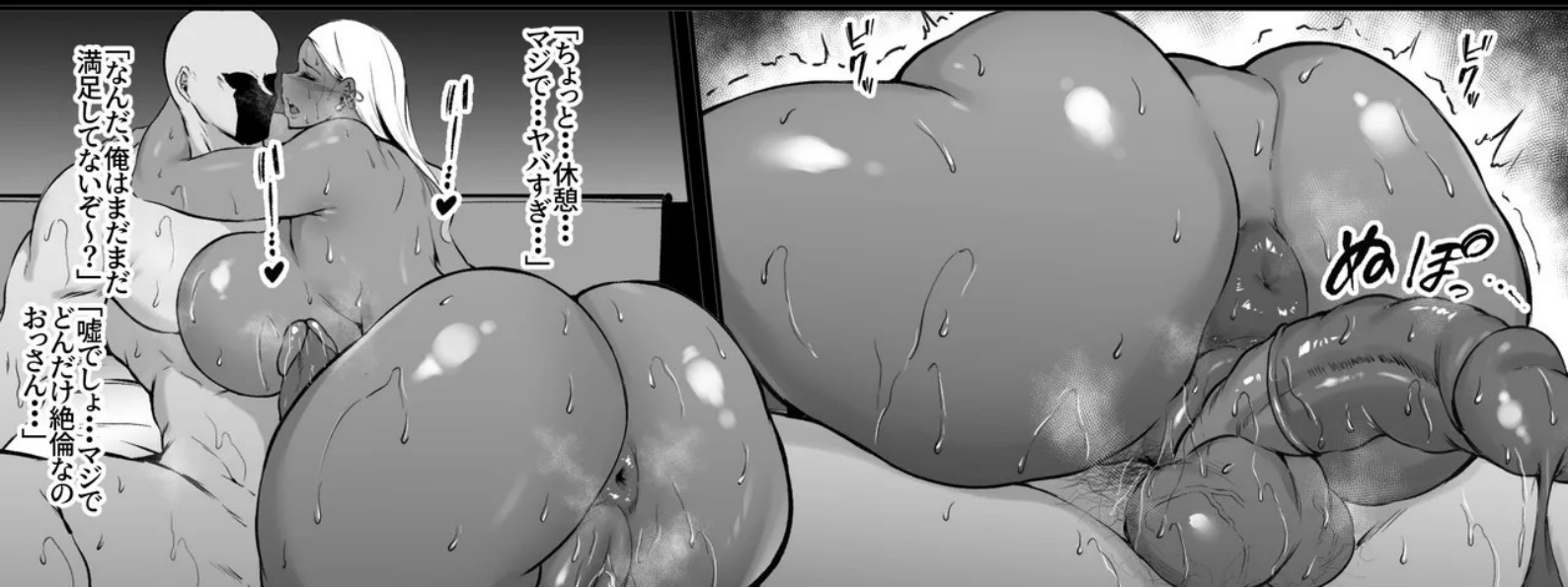


「甲斐性のねえへタレマシコだが
チャンスはまだあるぞ♡」

「オラア起きろ!!
こっちは二倍払ってんだ!!」

「よおしいぞお
上手に精子昇らせた
ご褒美にまた射精
してやるからなあ♡」

「うっ、射精るっ
射精すぞお!」



「なんだ俺はまだまだ満足してないぞ?」
「嘘でしょ...マジでどんだけ絶倫なおっさん...」
「ちよろと...休憩...マジで...ヤバすぎ...」

きゃっ!?

「こんな体勢で…!?
ちよっ…! 離してよ!!」

「動くなって
このヘタレマンコを
ほぐしてやる♥」

ぐちゃ♥

べっ♥

「やっ…!!
舐めんなっ…!!」

ぢゅるるるっ♥

んんん♥

「もうパコりまくったからな
お前の弱点はもうわかって
んだよ抵抗すんな♥」

「やめっ…
気持ち…悪い…」

ぬり♥

ぬり♥

ぬり♥

ぢゅぢゅ♥

ぢゅー♥

んん♥



「よし大分ほぐれたな
ホカホカまんこに♡」

「ははっPP活してるくせに
綺麗なピンク色だな♡
黒ギヤルらしくこっちも
ドス黒くしてやる」

はぁ♡

はぁ♡

「全く、根元まで啜えられないのか」

「こんなフェラテクでイける連中は可哀想だな」

んふ...

んぼつ...

んふ！...

「無作法なロマンコに代わって下の口にお仕置きだ♡♡」

「なんだ今のでイッたのかw」

「今日二日で簡単にイクようになったなあ」

「オラ休んでる暇ないぞなにせ三倍払ってるからな♡」

はあ...♡♡

はひゅん...♡♡

けん...♡♡

とろろ...

けん...♡♡

「おい、起きないともっとお仕置きしちまうぞ♡♡」

「オラッ生のちんぽが
子宮にゴリゴリ当たってんの
わかるかッ」
「ほらッどうだっ♡」

「おッ♥おッ♥
わかッるうう♥♥」

「生だと全然違うだろッ♥
「ほらいケっ!!!」



「ああああああああッ♡♡♡♡♡
イッてるのッ♡おッ♡
イッてるッばああああッあ♡♡♡♡♡
「おッ♡止ま



「この美味そうな乳首も
可愛がつてやる♡」

「あッ♡
やめッ♡♡♡」

「おほっ、デカ乳首は
吸いごたえあるな♡」

「あひッ♡もッ♡
すっ、吸うなあ♡♡♡」

「あッ♡
やめッ♡♡♡」

「うおおっキタッ♥
精液上がってきたぞッ♥」

「一番奥で思いつきり
射精してやるからなッ♥」

「膣内はッ♥
ヤバいってえ♥」

「うるさいッ金なら
いくらでも払ってやる!
さっきの五倍だッ!♥」

「バッグも欲しいのか!?
なんでも買ってやるぞ!♥」

「やつ♥やめてえ♥」

「射精るッ♥」

「射精るぞおおおッ!!!」

ズボッ

ズボッ

ズボッ





「うわ、せっかく出した
ザーメン溢すなよ
もったいねえなw」

「フーッ...♡やっぱ
中出し最っ高だなあ♡」

「また子宮に入れ直さ
ないとなあ♡」
「まだまだこれから
だぞレイラ♡♡」

レイラはその後もひたすら
ハメられ続けた――

実に五時間……

ゴムありゴムなし交尾
合わせて20回以上……

徹底的にちんぽの味を
叩きこまれた

金にモノを言わせて
止まらぬピストンに為す術なく
強い雄の性欲が
満たされるまで――



「ほらレイラ
写真撮るぞ♥」

「はい、チーズ」

「何発射精したかな...
流石に少し疲れたが」

「ついやゝ久しぶりに
ハッスルしたわ♥」

「自分からちんぽねだるような
タダマン雌便所にしてやつからな♥」

「楽しみにしどけよ、レイラ♥」













